

3月4日（土）第5回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、“**81歳！これから語り続けます。一人一人の顔を見て語ることの大切さ。**”と題して、ゲストに津軽かたいべの会会長の“**菊地菊代さん**”をお迎えして、お話ししていただきました。最初に、菊地さんから「みなさんに謝りたいことがある」と・・・「実は誕生日を迎えて、82歳になりました」と報告がありました。

菊地さんは、黒石出身で、**昔語りを本格的に始めたのは退職した60歳の頃**で、会結成当初からの会長だそうです。**両親が共に本が好きで、母親は毎晩各地の昔話を語ってくれて、父親は外国の本を読んでくれた**そうです。その中でも、父親が読んでくれた**エイズラハム・リンカーンの本が特に好きだった**と話している。現在は、弘前市**いんご公園**の小山内家住宅やJR「リゾートしらかみ」の車内で津軽の**昔語り**をしているそうです。**始めた頃は、語るというよりは、原稿を読んでいるように感じられ「昔話は読むものじゃない、語るもの」と話している**。現在は、語り用に記録した昔話のストックは**100話以上**あるが、語る時は**原稿を見ない**と話している。**平成29年12月にご主人が亡くなった時に、虚脱感を覚えて一時昔語りを休止し、約4か月休んで28年の4月に活動を再開**したそうです。

話の途中で、夕やけと雪っこの**歌をみんなで**歌った後に、菊地さんが用意した**赤い櫛の原稿**をみんなで読み合わせてから、**女性と男性の一人ずつに読んでもらって菊地さんからアドバイス**していただきました。

その後、**菊地さんが語る昔語りに、参加者が全員が聞き入って楽しい時間を過ごしました**。**津軽かたいべの会は、第1と第3金曜日の10時～12時まで**、定期的に市民**参画センター3階活動室**でも開催しています。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。**見学も自由です**。

参加者からは～菊地さんの昔語りを聞きたくて来ました。楽しかったです。感動しました。先生の良さが分かりました。初めて語りを聞きました。とってもいい話を聞き感動で涙が出ました。先生の良さが分かりました。**歴史を元にしたお話**もあって**興味深かった**。ボランティア活動を考えるきっかけになりました。などの感想をいただきました。

「ほっと・ぼらんていあ」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、これからも**2か月に1回程**開催する予定です。**次回は、6月か7月頃**に開催予定です。**詳細は、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞**等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。